

## 好きです! 山中

平成28年6月9日 文責:校長 池田幸春

### 「命の日」教育講演会 ～災害に負けるな!防災力の向上について～

6月8日を山鹿中学校では、「命の日」と定めています。理由は、8年前の6月8日に当時中学3年生だった女子生徒が交通事故に遭い、尊い命を亡くしたからです。思いもよらない突然の死に、学校全体が大きな悲しみに包まれました。一度失われた命は、2度と戻りません。私たちは、日々、生きていくことへの感謝や喜びを忘れず、命を大切にしなければなりません。6月8日は山鹿中学校にとっては、特別な日であり、あらためて全校で命について考える機会を設けました。

4月に熊本地震が発生し、私たちも経験したことのない揺れに恐怖を感じるとともに、多くの方が犠牲になりました。そこで、地震発生直後から、甚大な被害が起きた益城町に出向かれ、救出活動等に従事された山鹿消防署の高見慎一郎さんをお招きし、話をお聞きました。現地の動画や防災力を高める資料をもとに、体験談をもとに話をいただきました。

講演後は「つらかったことや喜びは」「人を助けるために私たちができることは」「現地の小中学生の様子は」「非常食に適した物は」「なぜ消防士を目指したのか」「災害現場ではいけないことは」などの次々に質問が出ましたが、ていねいにわかりやすく答えていただきました。子どもたちも、被災された方々に寄り添い、



、防災力の向上が尊い命を守ることを強く感じてくれたと思います。家庭でも話題にしていただくとさらに防災力が高まります。 【一部感想を紹介します】

○最近はあまり大きな余震もなくなってきて、油断して何も準備していなかったけど「地震から2ヶ月は油断できない」と聞き、もう一度準備をしっかりとしようと思いました。また、「自助」「共助」「公助」の3つの言葉を忘れずに、家の周りの人との関わりを大切に過ごしていきたいと思いました。

○僕の祖父母は益城町に住んでいて被災しました。命も助かり、けがもなく無事でした。地震という僕たちには縁もゆかりも無いものだと思っていたので、正直びっくりしました。祖父母も僕も、みなさんの救助する姿に勇気づけられました。祖父母の分まで御礼申し上げます。今、この時に生活できることに感謝します。

- 自助：自分や家族の身は自分たちで守る。(備蓄、避難場所の確認等)
- 共助：近隣住民や地域の人たちが互いに協力し、助け合う。
- 公助：国、県、市町村などの行政機関や公的機関による対応。

「自助」が防災の基本。自分を守ることにより、家族・友人・隣人を助けに行くことができます。つまり共助につながります。

「救助される人」ではなく「救助する人」になりましょう。

